

1、初めに

2020年10月、日本が宣言した2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指す取り組みや2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であるSDGsなど社会活動の中で環境に配慮した取り組みが世界中で求められています。中小企業においても環境に配慮した経営を求められる時代へと移っています。

このような時代背景において善通寺商工会議所では、環境アクションプランを策定・実行することで会員企業に向けて環境に配慮した経営づくりを支援していきます。

2、SDGsについて

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2030年までに世界が達成を目指す17の目標と169のターゲットを定めたものです。経済、環境、社会等諸問題について設定されています。



(国際連合 HP から引用)

3、カーボンニュートラルについて

カーボンニュートラルとは、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする取り組みです。カーボンニュートラルは温室効果ガスの排出を完全にゼロにするのではなく、植林や森林管理による二酸化炭素の吸収によって合計をゼロにする取り組みを目指しています。

4、方針

【低コスト・無理せず・業種問わず会員企業が実践できる取り組み】を実行する
これからの企業において環境問題は避けては通れない問題となります。企業が様々な問題に直面する中で環境問題についての取り組みを継続して実施するためには、低コストと大規模な労力を使わないことが必要不可欠です。まずは、身近な環境問題を解決することによって経営や経費について見直しを図るきっかけにもつながります。支援機関である商工会議所が率先して継続した取り組みを実行することで会員企業への支援内容の幅を広げることが可能になります。

5、検証

1年ごとに職員にヒアリングを実施、取り組み内容を実践出来ているか確認します。

また、達成状況に応じて修正します。

そして、会員企業にもヒアリングを行うことでどの企業でも無理なく継続できるか見直します。

6、流れ

環境アクションプラン策定



周知・実施（1年間 職場内実施・会員企業周知）



検証（職場内ヒアリング・会員企業ヒアリング）



修正・実施・会員企業告知（環境アクションプラン見直し後再実施）

7、取り組み内容

以下のような小さな取り組みを継続することで環境への配慮及びエコ意識や気運を醸成することが出来ます。

分類	内容	詳細
職場内	コピー用紙	<ul style="list-style-type: none">・ FSC 認証を受けたコピー用紙を使用する・ 片面プリント用紙の再利用・ 印刷プレビューで確認する
職場内	電気	<ul style="list-style-type: none">・ 使用していない電気の消灯 (トイレ・使用していない階や会議室等)・ 外出時の PC シャットダウン (60~90 分の外出を目安に)・ PC 等電子機器の省電力モード
職場内	乗り物	<ul style="list-style-type: none">・ 電気自動車の利用・ 近場の自転車利用
職場内	服装	<ul style="list-style-type: none">・ 5~10月のクールビズ推奨・ ウォームビズの推奨
職場内	廃棄物	<ul style="list-style-type: none">・ ゴミの分別をする・ リサイクル可能な物は分ける
職場外	広報	<ul style="list-style-type: none">・ SDGs の周知 (会報誌等)・ カーボンニュートラルの周知 (会報誌等)・ かがわ地方創生 SDGs 登録制度の登録・ 会員企業に向けて環境アクションプランの公表
職場外	支援	<ul style="list-style-type: none">・ 会員企業による環境アクションプラン策定の支援・ 会員企業によるかがわ地方創生 SDGs 登録制度登録の支援